

令和5年度 第4回吉田町総合計画等審議会（議事録）

1. 開催日時

令和5年11月27日（月）10:00～12:00

2. 開催場所

吉田町役場2階 町民ホール

3. 出席者

氏名	役職等	備考
塚本 成男	吉田町教育委員会委員（教育長職代理者）	第3条第1号
増田 学	吉田町商工会会長	第3条第2号
村松 直樹	ハイナン農業協同組合専務理事	第3条第2号
松浦 光紀	南駿河湾漁業協同組合常務理事・吉田支所担当理事	第3条第2号
藁科 昌利	静岡うなぎ漁業協同組合理長	第3条第2号
田島 逸雄	吉田町社会福祉協議会長	第3条第2号
増田 竜彦	住吉区自治会長（自治会連合会会長）	第3条第3号
松浦 祐之	川尻区自治会長	第3条第3号
桐田 不二雄	片岡区自治会長	第3条第3号
白石 寿一	北区自治会長	第3条第3号
田中 啓	静岡文化芸術大学教授	第3条第4号
瀧井 一也	島田掛川信用金庫吉田支店長	第4条
飯田 千恵子	(株)FM島田放送番組審議会委員	第4条
鈴木 佐知子	特別養護老人ホーム片岡杉の子園施設長	第4条
松永 進	島田公共職業安定所長	第4条
松浦 隆典	静岡県中部地域副局長	オブザーバー 代理出席

（敬称略）

※ 大石千恵子委員、岩根政次委員、松浦セツ子委員、大箸武史委員、滝井愛美委員が欠席。
オブザーバーは代理人が出席

4. 町長あいさつ

- ・これまで、委員の皆様からご意見をいただき、いよいよ第6次吉田町総合計画の形が見えてきた。
- ・第4期吉田町総合計画以降は、自分が町長になってからの計画であり、これまで様々な施策に取り組んできた。
- ・2008年をピークに人口減少が始まっており、これからは各自治体が人口減少対策を考え、対応していくことが必要となる。

5. 会長あいさつ

【静岡文化芸術大学 田中啓委員】

- ・前回に引き続き、第6次吉田町総合計画及び第4次吉田町国土利用計画に対する審議になる。
- ・今回は、皆さんの意見を反映させる最後の機会になる可能性があるので、様々な意見を願いたい。

6. 議事

6.1. 第6次吉田町総合計画について

事務局より「資料No. 1 第6次吉田町総合計画基本構想（素案）」、「資料No. 2 第6次吉田町総合計画基本計画（素案）」を説明した。

(1) 全体について

● 【〇〇委員】

- ・基本構想、基本計画、実施計画、個別計画という言葉が出てくる。基本計画に記載しているものを実施計画や個別計画でやっていくということだが、審議会で我々が審議する対象はどの計画までなのか。

→ 【田中会長】

- ・総合計画が対象となる。総合計画の中に文言が載ることは重いことであると受け止めていただければよいと思う。総合計画には、かなりの確度をもって行政が推進するものが記載される。ただし、総合計画に載っていないからといって取り組まないわけではない。それらは実施計画や個別計画に記載される。線引きの判断は難しいが、委員の皆さんが重要だと思ふことは基本計画に載せた方がよい。

→ 【事務局】

- ・総合計画では全体の方向性を示し、実施計画では基本計画に示した施策について、予算の裏付けのある具体的な事業を載せていく。

→ 【〇〇委員】

- ・総合計画の中に基本計画があるという理解でよいか。

→ 【田中会長】

- ・吉田町の総合計画は、基本構想と基本計画が含まれ、実施計画は含まれていない。

(2) 基本構想（素案）について

● 【〇〇委員】

- ・将来フレームの人口について、将来的に人口が減少する中で、人口維持を図ろうとすることは正しいか。人口が維持できると思われる根拠を説明してほしい。

→ 【事務局】

- ・人口フレームについては、本町の人口ビジョンにおける将来人口の展望値を、国勢調査の人口水準に置換して推計したものである。実際、本町の人口はそこまで下がっておらず、横ばい状態である。2031年以降は徐々に減少する見込みだが、次期計画期間における本町のスタンスとしては、施策を打つことによって人口の維持を目指していきたい。
- ・本町の人口ビジョンは、合計特殊出生率を2.07と仮定し、2060年の人口を2万9,000人に維持することを目指し施策を打っている。国の長期ビジョンや静岡県人口ビジョンで合計特殊出生率等の見直しがあれば、本町においても仮定値を見直していきたい。

→ 【〇〇委員】

- ・いつ時点の国勢調査なのかを明記してもらえるとよい。

→ 【田中会長】

- ・人口フレームは、国土利用計画等、本町の各個別計画のベースとなる重要なものである。

(3) 基本計画（素案）について

a) 地震・防災対策

● 【田中会長】

- ・P11「住宅の耐震化事業の促進」について、県の事業は令和7年度で終了する予定となっている。今後も継続する予定はないのか。県には引き続き継続を要望するとともに、町でも啓発を進めるという内容にすることを検討してほしい。

→ 【事務局】

- ・当町としては、県の事業が終わることを前提とした記載としている。

→ 【田中会長】

- ・限定的な書き方をしていることが気になるので、担当課に確認してもらいたい。

b) 治山治水対策

● 【〇〇委員】

- ・P14「坂口谷川水災害対策プランの推進」において、「宮裏川及び第2宮裏川等の排水ポンプの増強を実施し」と書かれているが、住吉川のことを記載されていない。記載がなくとも対策は考えられていると思うが、言葉としてここに加えてほしい。

→ 【事務局】

- ・「等」に含まれており、住吉川については実施計画の中で具体的な対策を考えていくことになるが、担当課に確認し、対応を検討する。

c) 賑わいづくり

● 【〇〇委員】

- ・P37の「分野の主な成果指標」の「吉田カムカム補助金交付件数」について、現状値か

ら令和9年度の目標値までの間に1件しか増えないというのはおかしい。

→ **【事務局】**

- ・数万人規模の大規模イベントに対する補助が対象になるため、毎年1件ずつ増やすのは現実的に難しい。4年間をかけて、大規模イベントを実施する団体を1件発掘したいという主旨でこのように目標値を設定している。既存のイベントを発展させ、集客を増やしていくことも考えていきたい。

→ **【〇〇委員】**

- ・多くの団体に関心を持ってもらって補助金交付の申請をしてもらうことを優先しているのであれば、指標を申請件数とすることも考えられると思う。

d) 住環境

● **【〇〇委員】**

- ・吉田町の各種計画では、「水と緑が豊か」であることが方向性としてよく記載される。P50の「住環境」の「分野の主な成果指標」に「花いっぱい活動団体数」が設定されているが、花は確かに多いと思う。しかし、緑は意外と多くないと感じている。街路樹は切られてしまっている。「水と緑が豊か」というイメージを謳いながら、林や森は失われているように感じるが、どのように考えているか。

→ **【事務局】**

- ・緑化の推進と街路樹の管理との両立は難しい面がある。緑の基本計画では、公園を含めた緑化について進めていくこととしている。

e) 高齢者福祉

● **【〇〇委員】**

- ・P78の「分野の主な成果指標」に「要介護認定率」が設定されている。「施策2 生活支援サービスと福祉事業の充実」に関連するが、相談件数がなかなか伸びない。社会福祉協議会でも宣伝等をしているが、相談窓口が分からない等の声が出ている。要介護になる前の段階の指標として、相談件数を拾い上げてもらえるとよい。また、健康づくりに関する分野では、健康寿命に関する指標を設定してもらえるとよい。

→ **【事務局】**

- ・担当課に確認したところ、個別計画である高齢者保健福祉計画でそれらの指標について把握していくということであった。

f) 学校教育

● **【〇〇委員】**

- ・P86の「施策1 教育環境の充実」について、一つ目の「吉田町教育元気物語TCPトリビンスプランに基づいた教育環境の充実」は学習指導要領に基づいて進めるのでよいが、二つ目の「学校施設劣化診断調査結果に基づく学校施設の改修」は、成果指標の「学校施設における法定点検の実施率」につながってくる。学校施設で法定点検を実施するのは当然であり、100%を目指すのも当然である。劣化診断で指摘のあった箇所の現状と、どう修繕するかが大事である。また、8年間の計画になるが、成果指標には中間年の令和9

年度の目標値が設定されている。夢がほしいと思う。8年間で学校の修繕だけを進めていくのはどうかと思う。修繕や防災は必要だが、それに加えて、できれば新校舎の建設を目指してもらいたい。

→ **【事務局】**

- ・ここではソフト・ハード両面の取組を記載している。「学校施設における法定点検の実施率」という指標を変更するかどうかについては担当課に確認する。新校舎の建設については費用面や長寿命化計画等の面からも難しいと考えている。

g) 青少年健全育成

● **【〇〇委員】**

- ・P90の「分野の主な成果指標」について、「笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数」が設定されているが、私もベストは持っている。配布すれば良いわけではないので、活動している人の数を成果指標に設定すべきではないか。

→ **【事務局】**

- ・ご指摘の通りであると認識しているが、活動している人の数を把握する方法がない状況である。このため、近いものとして、ベスト配布数を指標に設定しているが、今後改善を図れるとよいと考えている。

→ **【〇〇委員】**

- ・自彊小学校では、きずなネットを活用して見守りの方に情報を配信している。その登録者を指標として設定できるのではないか。

→ **【事務局】**

- ・きずなネットについては、多くの保護者が登録しており、また、活動している方が全員登録しているかについても不明である。非常に良いアイデアをいただいたので、今後の検討に生かしていきたい。

h) その他

● **【〇〇委員】**

- ・分野名の文字の隣に余白があるが、何か文字が入るのか。また、印刷時には文字が大きくなるのか。バランスが悪いと思う。

→ **【事務局】**

- ・ご指摘の箇所に新たな文字は入らない。字句の大きさやデザインは今後調整していくため、この場では内容の確認をお願いしたい。内容確定後、文字の大きさにメリハリをつけたり、各章の扉を見やすくしたりするほか、余白に絵や写真を入れていく。デザインについてご提案があればお聞かせいただきたい。

→ **【田中会長】**

- ・残念ながら審議会でデザイン案を見ることはできないが、なるべく見やすい紙面構成をお願いしたい。

6.2. 第4次吉田町国土利用計画について

事務局より、10月30日に開催された審議会での審議結果及び11月6日に開催された町政連絡会の報告を行った。

今後、本計画案に対する、パブリックコメントを実施する。

- 【田中会長】

- ・ 第4次吉田町国土利用計画案について、前回の審議会において、修正等はなく、ご了承いただいている。事務局としては、本計画案の内容で、パブリックコメントを実施したいとのことだが、これについて意見、質問はないか。

→意見等なし。

6.3. その他

- 【事務局】

- ・ 次回は令和6年1月12日（金）10時、この会場で開催を予定している。

以上